

VII. 下水道資源の有効利用

1. 事業概要

湖西浄化センターにおいて、脱水汚泥を原料として燃料化物を製造し、下水汚泥の資源化を図ると共に、温室効果ガスの削減による地球温暖化防止に貢献します。

本事業は、大津市公共下水道で発生する汚泥を共同処理する「琵琶湖流域下水汚泥処理事業」として行われています。

事業箇所：滋賀県大津市苗鹿三丁目1-1

事業期間：<設計及び施工>

平成25年3月25日から平成28年3月22日まで

<維持管理運転>

平成28年1月1日から平成48年3月31日まで

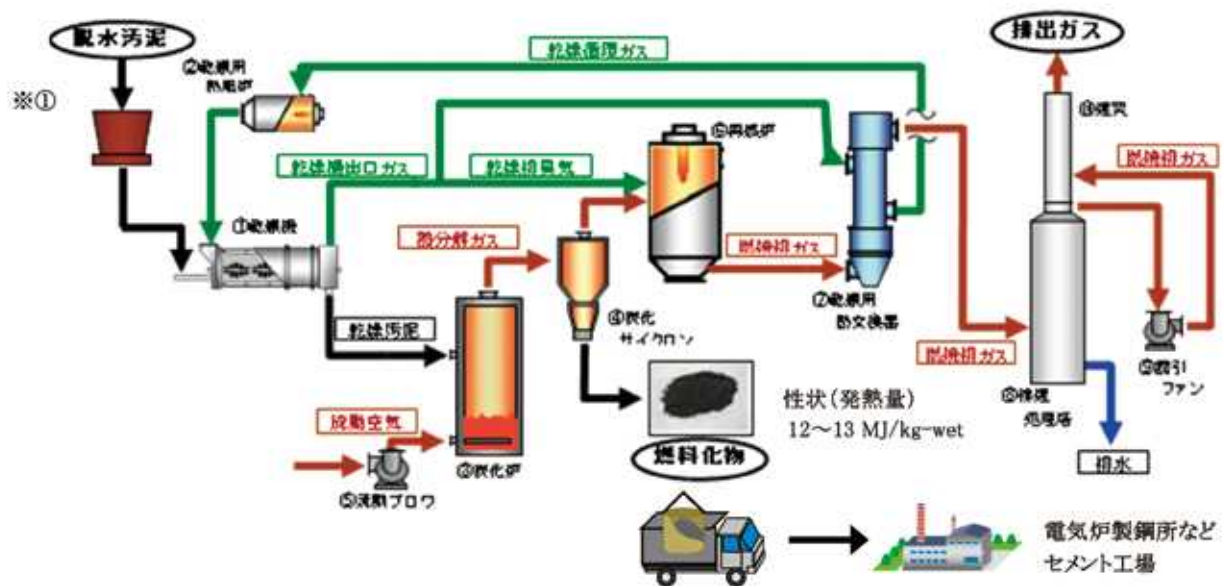
発注方式：設計・施工・維持管理一括契約（DBO）方式

公称能力：80 t/日

燃料化物製造量：2,000t/年（予定）



2. システムフロー（流動床式炭化システム）



※①脱水汚泥は湖西浄化センター製造分と大津市水再生センター受入れ分

3. CO₂排出量の削減

従来汚泥処理方式である「焼却+溶融設備」と「本施設」でのCO₂排出量を下表に示します。

項目	焼却+溶融設備 t-CO ₂ /年 A	本施設 t-CO ₂ /年 B	削減量(A-B) t-CO ₂ /年
都市ガス	3,733	546	3,187
電力	1,587	949	638
N ₂ O由来	4,596	211	4,385
合計	9,916	1,706	8,210

また、本施設にて製造する燃料化物を石炭代替燃料として利用することで、利用施設側の石炭使用量の削減により、CO₂排出量を3,113 t-CO₂/年削減することが可能です。